

地域愛着と居住環境が定住意識に与える影響に関する研究

秋田大学 学生会員 ○三浦 直彦
秋田大学 正 会 員 日野 智
秋田大学 正 会 員 木村 一裕

1. はじめに

近年、全国的に人口減少、高齢化が進行しており、特に地方都市にとっては深刻な問題となっている。地方都市での人口減少は地域活力や生活サービスの低下を招くことが懸念される。全国的に人口は減少傾向にあり、地方都市の人口を増加させる方策の実現は非常に困難であるといえる。そのため、住民に定住意識を持ってもらい、人口減少を抑制することが重要と考えられる。

本研究では、地域に対する愛着と居住環境が住民の定住意識に大きく影響を与えていると考えた。すなわち、地方都市と中山間地域で意識調査を行い、定住意識に与える要因を把握したものである。そして、地方都市、中山間地域における生活の質や定住意識を高めるための都市整備のあり方を考究した。

2. 地方都市と過疎地域での意識調査の実施

(1) 意識調査の概要

本研究では、地方都市として秋田市御所野地区、秋田市泉地区を、また中山間地域として秋田県上小阿仁村を対象とした意識調査を実施した。意識調査の概要を表1に示す。

表1 意識調査概要

配布先	・秋田市御所野 ・上小阿仁村	・秋田市泉 ・秋田大学生
調査内容	・被験者の属性 ・居住環境への意識	・定住意識と愛着 ・居住地域でのつながり
回収部数	・ 泉 90世帯133部 ・上小阿仁村 96世帯133部	・御所野 93世帯144部 ・ 学生 155部

3地域の被験者の属性を見ると、男女比はほぼ等しくなっているが、年齢層は10代～30代が少ない。40代からは60代が突出しているものの、票数としては十分得られた。

(2) 居住環境への満足度から見た地域特性

調査では地域別の居住環境への総合満足度(図1)

と個別項目の満足度を質問した。

秋田市泉地区は自然環境や騒音についての満足度がとても高く、次いで、日用品の買物と非日用品の買物、医療施設などの項目も高い。また、総合的な満足度も高い結果となった。秋田市御所野地区では、商業施設や医療施設、自然環境、騒音の項目で満足度が非常に高くなり、総合満足度も3地域の中で最も満足度が高かった。

一方、上小阿仁村は商業、医療施設の不足や、交通面での不便さからそれらの要素を含む項目の満足度が低い結果になり、総合満足度も低い。

学生については、自然環境の要素を含む項目が高い傾向が見られたが、その他の項目では満足度が低い。特に日用品や日用品以外の買物での満足度が低く、総合満足度も低い結果となった。

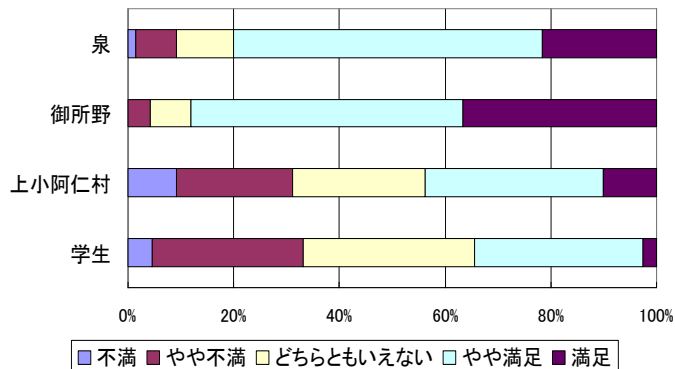


図1 地域別にみる居住環境の総合満足度

(3) 定住意識と地域愛着から見た地域特性

各調査対象の定住意識と愛着のグラフを図2に示す。3地域についてはどの地域も定住意識と愛着の両方が高いといえる。

秋田市泉、御所野地区について、定住意識や愛着を持っている被験者は居住環境に対しても満足しているが、上小阿仁村では定住意識や愛着を感じている被験者であっても必ずしも居住環境に満足していない。一方で、定住意識や愛着を持っている被験者

キーワード：意識調査分析、定住意識、愛着、居住環境

連絡先：〒010-8502 秋田県秋田市手形字学園町1-1 TEL (018)-889-2767 FAX (018)-889-2975

は、現在の住居の周辺に相談できる相手や、物の貸し借りが出来る友人・知人がいる、という傾向がある。このことから上小阿仁村では、地域の人々とのふれあいやつながりが定住意識や愛着につながっていると考えられる。

学生については、定住意識は低い、比較的愛着を持っているという結果になった。愛着を持っている被験者は、緑の量や騒音の少なさに満足している傾向にあり、自然環境に対して満足していることが明らかになった。また秋田県内の出身者は、定住意識や愛着も高い傾向にあり、若年層であっても秋田への定住意識や愛着を持っていることが明らかになった。

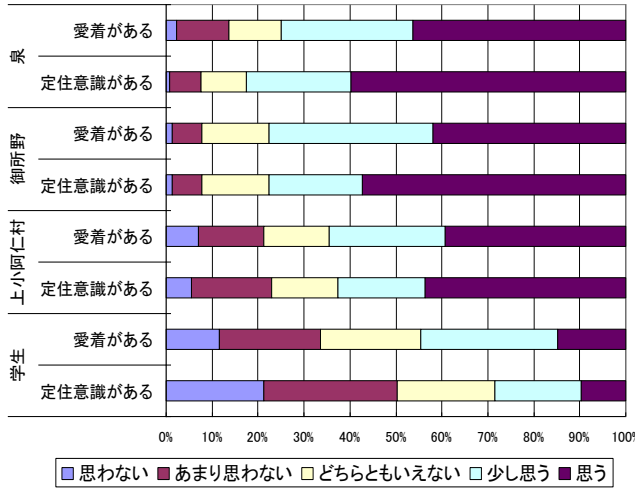


図2 地域別の定住意識と地域愛着

3. 数量化Ⅱ類による居住環境からの評価

各地域での居住環境への意識を把握する為に、数量化Ⅱ類による分析を行った。外的基準を現在の居住環境への総合満足度、地域への愛着の2つを設定し、アイテムを項目別の居住環境の満足度として行った。

(1) 総合満足度に与える影響

外的基準を現在の居住環境の総合満足度とした時の、アイテムのレンジを表2に示す。

秋田市泉地区では「自然環境」と「騒音」のレンジが大きく、それらに対する満足度も高い。秋田市御所野地区では「自然環境」や「公共施設」、「日用品の買物」、「日用品以外の買物」のレンジが大きく、全て満足度が高い。上小阿仁村では、「騒音」や「余暇を過ごす施設」、「医療機関」のレンジが大きい。騒音などの自然環境に対する満足度は高いが、医療機関や余暇の項目の満足度が低い結果となった。学

生では、「日用品の買物」や「日用品以外の買物」のレンジが高くなっているが、それらの商業施設に対する満足度は低いものであった。

表2 居住環境が総合満足度に与える影響（レンジ）

	泉	御所野	上小阿仁村	学生
1. 自然環境	1.75	2.71	0.56	0.22
2. 騒音	0.83	0.32	0.99	0.18
3. 公共交通	0.26	0.29	0.70	0.47
4. 道路環境	0.75	0.85	0.60	0.62
5. 余暇を過ごす施設	0.25	0.42	1.24	0.54
6. 公共施設	0.62	1.83	0.26	0.43
7. 医療機関	0.31	0.50	1.46	0.42
8. 日用品の買物	0.78	1.38	0.45	1.02
9. 日用品以外の買物	0.21	1.25	0.44	0.76
10. 仕事	0.38	0.74	0.41	0.66

(2) 地域愛着に与える影響

外的基準を現在の地域への愛着とした時の、アイテムのレンジを表3に示す。

秋田市泉、御所野地区では全体的に見て自然環境のレンジが高い結果となった。また、総合満足度と地域愛着に与える影響について、どちらでも自然環境の項目で高いレンジとなり、公共施設や商業施設などの項目よりも影響があると評価される。上小阿仁村では「自然環境」と「日用品」、「仕事」のレンジが大きく、現在の自然環境への愛着と、地域の商業施設や労働環境への不満が愛着に影響を与える結果になった。学生は自然環境に対する評価が高く、それが愛着につながっていると考えられる。

表3 居住環境が地域愛着に与える影響（レンジ）

	泉	御所野	上小阿仁村	学生
1. 自然環境	2.68	6.17	1.98	0.91
2. 騒音	2.51	0.79	1.17	0.94
3. 公共交通	0.51	1.39	0.40	1.03
4. 道路環境	0.44	0.80	0.57	0.37
5. 余暇を過ごす施設	1.30	0.23	1.20	1.08
6. 公共施設	0.50	3.20	0.79	0.09
7. 医療機関	0.81	0.53	0.23	0.87
8. 日用品の買物	1.77	1.18	1.23	0.14
9. 日用品以外の買物	0.58	1.19	0.69	0.30
10. 仕事	0.91	0.52	1.45	1.07

4. まとめ

本研究では、地域に対する愛着や居住環境への満足度と定住意識との関連性が明らかになった。また、中山間地域では居住環境が低く、生活に不便を感じていても、地域の人々とのつながりやソーシャルキャピタルが地域への愛着を生むことが示された。今後、地方都市では自然環境など、都市の長所を維持していく必要がある。中山間地域では、医療施設や商業施設など、生活する上で必要とされる環境の整備が最も重要である。また、人々のつながりも重要な要素といえる。